



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. 機能一覧
- 4. システム要件
- 5. 動作検証済環境
- 6. 制限事項
- 7. 事前確認事項
- 8. サードパーティ ライセンス一覧
- 9. 保証規程
- 10. 著作権および特記事項

変更年月日	変更内容
2017-12-01	初版
2018-04-01	第2版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none">■ システム要件を変更しました。

本書の内容

本書では IM-ExApply for Accel Platform のリリース内容について記載されています。

前提条件

intra-mart EX申請システム Ver.7.2 以前をご利用のお客様を対象としたものです。
当製品は、intra-mart WebPlatform互換版です。intra-mart Accel Platform の正規対応製品ではありません。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

IM-ExApply for Accel Platform の利用

本書に記載されている外部サイトのURL

- 本書内で記載されている外部URLは、2017年4月 現在のものとなります。

用語解説

intra-mart Accel Platform を 説明の都合上、一部 iAPと略している箇所があります。
intra-mart WebPlatform を iWP と略します。
intra-mart AppFramework を iAF と略します。

大分類	小分類	機能概要
様式選択 ※提出依頼用も 同様	様式選択	登録する様式を選択する
	様式選択初期値設定	登録時の初期情報（対象者、会社、所属組織、日付）を設定する ⇒ログインユーザでない対象者を選択することで代行で登録するイメージとなる
	データ抽出	登録する様式へデータ抽出条件を設定する
	様式選択登録	様式を登録する
	様式選択一時保存	様式を一時保存する
	様式選択一時保存呼出	一時保存した様式を呼び出す
	様式選択一時保存ダウンロード	一時保存下様式をダウンロードする
	様式選択登録完了	登録後のプロセス定義を選択する
	様式選択ダウンロード	様式をダウンロードする
	様式選択アップロードファイル選択	ローカルで修正した様式を選択する
	様式選択アップロード設定	様式選択初期値設定と同様の機能となる
登録データ検索 ※提出依頼用も 同様	登録データ検索一覧	登録されている様式を表示する
	登録データ検索	様式を検索する
	登録データ検索訂正	様式を訂正する
	再利用登録	様式を再利用して登録する
	登録データ検索詳細	様式を詳細表示する
	詳細情報印刷	様式を印刷する
	詳細情報ページ設定	印刷のページ設定を行う
	詳細情報保存	様式を保存する
	登録データ検索履歴	様式の登録履歴を表示する
	登録データ検索フロー	ワークフローを利用している場合、フロー情報を表示する
登録データ出力	登録データ出力一覧	登録されている様式を表示する
	データ抽出	出力する様式へデータ抽出条件を指定する
	連票出力	連票形式にて登録データを出力する
	登録データ出力検索	単票データを一覧表示する
	単票出力	単票形式にて登録データを出力する
ドキュメント	ドキュメント選択	マニュアルを選択する

大分類	小分類	機能概要
テンプレート	テンプレート選択	様式テンプレートおよびサンプル様式を選択する
ツール	ツール選択	ツールを選択する
入力様式マスタメンテ	入力様式マスタメンテ選択	入力様式の設定を選択する
	入力様式フォーマットファイル選択	作成した入力様式を指定して登録を行う
	入力様式設定インポートファイル選択	作成した入力様式、設定シートを指定して登録を行う
	入力様式一括設定インポートファイル選択	作成した入力様式、設定シート、テーブル設定を指定して登録を行う
	入力様式バージョン選択	入力様式のバージョンを選択する
	入力様式マスタメンテ登録	入力様式の設定を登録する
	入力様式フォーマットファイル変更	入力様式のフォーマットを変更する
	入力様式プロセス定義選択	入力様式にプロセス定義を紐付ける
	入力様式プロセス定義バージョン一覧	プロセス定義のバージョンを選択する
	入力様式プロセスタスク定義設定	プロセス定義のタスク毎に出力設定（採番、承認情報出力）を行う
	入力様式設定エクスポート	入力様式の設定シートを出力する
	入力様式ロケール登録	多言語用に入力様式マスタメンテの名称を登録する
	入力様式ロケールエクスポート	多言語用の入力様式マスタメンテの名称を出力する
	入力様式ロケールインポート	多言語用の入力様式マスタメンテの名称を取り込む
	入力様式メッセージ登録	様式へ独自のメッセージを登録する
	入力様式メッセージエクスポート	様式へ登録した独自のメッセージを出力する
	入力様式メッセージインポート	様式へ登録する独自のメッセージを取り込む
	入力様式マスタメンテ全て検索	入力様式の設定情報を検索する

大分類	小分類	機能概要
出力様式マスタメンテ	出力様式マスタメンテ選択	出力様式の設定を選択する
	出力様式フォーマットファイル選択	作成した出力様式を指定して登録を行う
	出力様式設定インポートファイル選択	作成した出力様式、設定シートを指定して登録を行う
	出力様式マスタメンテ登録	出力様式の設定を登録する
	出力様式フォーマットファイル変更	出力様式のフォーマットを変更する
	出力様式設定エクスポート	出力様式の設定シートを出力する
	出力様式ロケール登録	多言語用に出力様式マスタメンテの名称を登録する
	出力様式ロケールエクスポート	多言語用の出力様式マスタメンテの名称を出力する
	出力様式ロケールインポート	多言語用の出力様式マスタメンテの名称を取り込む
	出力様式マスタメンテ全て検索	出力様式の設定情報を全て検索する
データインポート	データインポート設定一覧	登録データのインポート設定を表示する
	データインポート登録	登録データのインポート設定を登録する
	データインポート設定インポートファイル選択	データインポート設定シートを指定して登録を行う
	データインポートファイル選択	インポート設定に従い作成した登録データを取り込む
	データインポート設定エクスポート	データインポートの設定シートを出力する
	データインポートロケール登録	多言語用にデータインポートの名称を登録する
	データインポートロケールエクスポート	多言語用のデータインポートの名称を出力する
	データインポートロケールインポート	多言語用のデータインポートの名称を取り込む
データエクスポート	データエクスポート設定一覧	登録データのエクスポート設定を表示する
	データエクスポート登録	登録データのエクスポート設定を登録する
	データエクスポート設定インポートファイル選択	データエクスポート設定シートを指定して登録を行う
	データエクスポート設定エクスポート	データエクスポートの設定シートを出力する
	データエクスポートロケール登録	多言語用にデータエクスポートの名称を登録する
	データエクスポートロケールエクスポート	多言語用のデータエクスポートの名称を出力する
	データエクスポートロケールインポート	多言語用のデータエクスポートの名称を取り込む
マスタ管理	カテゴリマスタメンテ	カテゴリの名称をメンテナンスする
	システムパラメータメンテ	システムパラメータをメンテナンスする
	採番マスタメンテ	採番設定をメンテナンスする
	データ抽出マスタメンテ	データ抽出設定をメンテナンスする

大分類	小分類	機能概要
テーブル作成	テーブル一覧	テーブルの一覧を表示する
	テーブル作成インポートファイル選択	テーブル設定シートを指定して登録を行う
	テーブル訂正	テーブルのソート番号を訂正する
	テーブル設定出力	テーブルの設定シートを出力する
	テーブル全て検索	テーブルの設定情報を全て検索する
提出依頼用 入力様式設定	提出依頼入力様式設定	提出状況にて表示する項目の設定、および提出依頼の入力様式として選択可能な対象者を選択する
提出依頼用 出力様式設定	提出依頼出力様式設定	提出依頼の出力様式として選択可能な対象者を選択する
提出依頼用 提出依頼定義一 覧	提出依頼定義一覧	提出依頼の定義を一覧表示する
	提出依頼定義登録	提出依頼の定義（毎月、毎週、日付単位の依頼申請）を作成する
	テンプレート入力	依頼内容のテンプレートをあらかじめ作成する
	提出依頼定義コピー	既存の提出依頼定義を複製する
	提出依頼定義ロケール登録	多言語用に提出依頼定義の名称を登録する
	提出依頼定義ロケールエクスポート	多言語用の提出依頼定義の名称を出力する
	提出依頼定義インポート	多言語用の提出依頼定義の名称を取り込む
提出依頼用 提出依頼一覧	提出依頼一覧	提出依頼を一覧表示する
	提出依頼登録	提出依頼（日付単位の依頼申請）を作成する
	テンプレート入力	依頼内容のテンプレートをあらかじめ作成する
	提出依頼コピー	既存の提出依頼を複製する
	提出依頼状況	依頼状況を確認する
	提出依頼メール送信	提出していないユーザに対して、依頼メールを送る
	提出依頼連票出力	連票形式にて登録データを出力する
	提出依頼様式詳細	様式を詳細表示する
	提出依頼単票出力	単票形式にて登録データを出力する
	提出依頼フロー	ワークフローを利用している場合、フロー情報を表示する
	提出依頼ロケール登録	多言語用に提出依頼の名称を登録する
	提出依頼ロケールエクスポート	多言語用の提出依頼の名称を出力する
	提出依頼インポート	多言語用の提出依頼の名称を取り込む

大分類	小分類	機能概要
システム	初期データインポート	IM-ExApply for Accel Platform のテーブル作成および初期データをインポートする
	提出依頼初期データインポート	提出依頼のテーブルおよび初期データをインポートする
	データ移行	旧バージョンからのデータを移行する
	提出依頼データ移行	旧バージョンからのデータを移行する
ワークフロー	IM-ExApply for Accel Platform 用フロー	IM-ExApply for Accel Platform にて利用するワークフロー（後処理を作成）
ポータル	EX未申請一覧	WFで未申請状態の様式を一覧表示する
	EX再申請一覧	WFで再申請状態の様式を一覧表示する
	EXバッチ実行結果	バッチ実行結果（データ削除バッチ、提出依頼バッチ）を表示する
	EX提出依頼一覧	提出依頼にて依頼された様式を一覧表示する
バッチ	IM-ExApply for Accel Platform 削除バッチ	IM-ExApply for Accel Platform にて一時的に保存されたデータおよび、削除期間が訪れたデータを削除する
	IM-ExApply for Accel Platform 提出依頼バッチ	提出依頼を行う
後処理	独自後処理	IM-ExApply for Accel Platform の後処理で実施可能なクラスを用意している 中身についてはお客様にて自由に作成可能

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

システム要件

IM-ExApply for Accel Platform は以下の製品上で動作します。

動作環境については、以下の製品のリリース・ノートを参照してください。

intra-mart Accel Platform 2014 Winter – 2018 Spring (Advanced Edition、Enterprise Edition)



注意

- intra-mart WebPlatform 上では動作しません。
- IM-共通マスタ、およびIM-Workflowには対応しておりません。

本製品をお使いいただくクライアント環境にはMicrosoft Excelがインストールされている必要があります。

本製品ではクライアント環境にてActiveX Controlを動作させるため、クライアント環境に以下のファイルが自動的にインストールされます。

コンポーネント名	ファイル名	Version	ファイルサイズ (KB)
IM-ExApply for Accel Platform	SepExcelUtility.INF		1
ActiveX Control	SepExcelUtility.OCX	8.0.1.0	724

サーバ要件

種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows Server 2008 R2
	Windows Server 2012
	Windows Server 2012 R2
	Red Hat Enterprise Linux 6
	Red Hat Enterprise Linux 7
ハードウェア	各OSの安定稼動が可能となるPC (CPU 3GHz以上を推奨)
必要メモリ容量(JVM)	推奨する最小構成 4GB 以上
必要ディスク容量	1GB 以上 (intra-mart Accel Platform のみ)
JDK	Oracle Java Platform, Standard Edition 8 Development Kit
Web Application Server	Resin 4.0.56
データベース	Oracle Database 11g Release 2
	Oracle Database 12c Release 1
	PostgreSQL 9.3
	PostgreSQL 9.4
	Microsoft SQL Server 2008 R2
	Microsoft SQL Server 2012

種別	製品名
Web Server	Internet Information Services 7.5 (Windows Server 2008 R2)
(Web Server 利用時のみ)	Internet Information Services 8 (Windows Server 2012)
	Internet Information Services 8.5 (Windows Server 2012 R2)
	Apache HTTP Server 2.2 , 2.4 (DSO サポート版)

クライアント要件

種別	ハードウェア	OS	ブラウザ	Microsoft Excel	クライアントタイプ
PC	PC/AT 互換機	Windows 7 SP1	Internet Explorer 11	Excel2010	[PC]
				Excel2013	[PC]
		Windows 8.1 Update	Internet Explorer 11 (デスクトップ用 Internet Explorer)	Excel2010	[PC]
				Excel2013	[PC]
		Windows 10	Internet Explorer 11 (デスクトップ用 Internet Explorer)	Excel2016	[PC]



警告

各ベンダーより提供される、サーバ・クライアント製品のサポート終了に伴う、弊社製品の対応方針について

下記を参照してください。

参考：http://dev.intra-mart.jp/product_policy/ (日本語)

Microsoft Windows 10 については、公式がサービスを終了するバージョンはサポート対象外です。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet> (日本語)

<https://support.microsoft.com/en-us/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet> (English)



注意

Internet Explorer の「互換モード」はサポート対象外となります。

Internet Explorer 11 は、更新バージョン 11.0.19(KB3049563) 以上の必要があります。



注意

Microsoft Excel2010 は、更新バージョン 14.0.7149.5000(KB2965240) 以上の必要があります。

Microsoft Excel2013 は、更新バージョン 15.0.4701.1001(KB2956145) 以上の必要があります。

Microsoft Excel2016 は、更新バージョン 16.0.4456.1003 以上の必要があります。

Microsoft Excel製品の問題により IM-ExApply for Accel Platform が正常に動作しない場合がございます。その際は、セキュリティパッチを適用してください。

Microsoft Excel製品をクイック実行版にてインストールにした場合、正常に動作いたしません。そのため、MSIベースにてインストールしなおしてご利用ください。

Microsoft Internet Explorer は32bit版でのみご利用いただけます。

Microsoft Excel製品の2013を利用する場合、Home and Business と Professionalでのみご利用できます。

Microsoft Excel製品の2016を利用する場合、Professionalでのみご利用できます。

動作検証済みサーバ環境

以下、弊社動作検証済み（推奨）のintra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組合せを示します。

intra-mart 製品	Java ランタイム	サーバOS (AP)	サーバOS (DB)	データベース	JDBC Driver
intra-mart Accel Platform	JRE1.8.0_45	Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012 R2	Oracle12c	Oracle JDBC Driver Release12.1.0.2.0
+		Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012 R2	Microsoft SQLServer2012	Microsoft SQL Server JDBC Driver 4.1
IM-ExApply for Accel Platform		Red Hat Enterprise Linux 7	Windows Server 2012 R2	PostgreSQL9.3	postgresql-9.3-1100.jdbc4

動作検証済みクライアント環境

OS	ブラウザ	Microsoft Excel
Windows 7 SP1	Internet Explorer 11	Excel2010 32bit版 Excel2013 32bit版
Windows 8.1	Internet Explorer 11 (デスクトップ用 Internet Explorer)	Excel2013 64bit版
Windows 10	Internet Explorer 11 (デスクトップ用 Internet Explorer)	Excel2016 32bit版 Excel2016 64bit版



注意

Internet Explorer の「互換モード」はサポート対象外となります。
Internet Explorer 11 は、更新バージョン 11.0.19(KB3049563) 以上の必要があります。



注意

Microsoft Excel2010 は、更新バージョン 14.0.7149.5000(KB2965240) 以上の必要があります。
Microsoft Excel2013 は、更新バージョン 15.0.4701.1001(KB2956145) 以上の必要があります。
Microsoft Excel2016 は、更新バージョン 16.0.4456.1003 以上の必要があります。
Microsoft Excel製品の問題により IM-ExApply for Accel Platform が正常に動作しない場合がございます。その際は、セキュリティパッチを適用してください。
Microsoft Excel製品をクイック実行版にてインストールにした場合、正常に動作いたしません。そのため、MSIベースにてインストールしなおしてご利用ください。
Microsoft Internet Explorer は32bit版でのみご利用いただけます。
Microsoft Excel製品の2013を利用する場合、Home and Business と Professionalでのみご利用できます。
Microsoft Excel製品の2016を利用する場合、Professionalでのみご利用できます。

IM-ExApply for Accel Platform の仕様および制限事項

1. 本製品はシステム要件で提示したintra-mart Accel Platform の制限事項に準拠します。intra-mart Accel Platformの制限事項については、それぞれの製品のリリース・ノートを参照してください。
2. 本製品はMicrosoft Excelの仕様および制限事項に準拠します。Microsoft Excelの仕様および制限事項についてはMicrosoft Excelのヘルプまたはオフィスオンライン(<http://office.microsoft.com/>)を参照してください。
3. 本製品はMicrosoft Excelを対象とした製品です。そのためMicrosoft Word(その他ソフト)にてお使いいただくことはできません。
4. 本製品はMicrosoft Internet Explorerを対象とした製品です。そのため、Microsoft Internet Explorer以外ではお使いいただくことはできません。
5. カテゴリは最大5階層まで作成することができます。
6. 入力情報登録時に最大10個まで添付ファイルを登録することができます。
7. 携帯電話、PDAではお使いいただくことはできません。
8. ファイル、フォルダの保存に関してはOSのファイルシステムに依存します。
9. 様式のExcelファイルにデータを出力する場合、Excelシートの行列の制限を超えて出力することはできません。
10. システムパラメータメンテにある明細登録形式項目を新形式にして、入力様式マスタメンテのヘッダと明細のテーブルが同一でない設定にします。
 - ・ヘッダにデータを入力せずに、明細のみにデータを入力した場合、ヘッダデータが1件空データとして作成されます。
 - ・ヘッダにデータを入力して、明細にもデータを入力した場合、ヘッダデータが1件作成されます。
 - ・ヘッダにデータを入力して、明細にデータを入力しない場合、ヘッダデータが1件作成され明細データは1件も作成されません。
11. システムパラメータメンテにある明細登録形式項目を新形式にして、入力様式マスタメンテのヘッダと明細のテーブルを同一にします。
 - ・ヘッダにデータを入力せずに、明細のみにデータを入力した場合、ヘッダの空データが明細数分作成されます。
 - ・ヘッダにデータを入力して、明細にもデータを入力した場合、明細数分ヘッダデータが作成されます。
 - ・ヘッダにデータを入力して、明細にデータを入力しない場合、ヘッダデータが1件作成され明細データは1件も作成されません。
12. システムパラメータメンテにある明細登録形式項目を新形式にて登録したデータのデータ抽出を行う場合に以下の制限があります。入力様式マスタメンテのヘッダと明細を同一テーブルに指定していなければ、ヘッダ設定で登録した項目を抽出条件にすると、ヘッダデータは明細件数にかかわらず1件しか登録されません。そのため、ヘッダデータを抽出条件とすると、それに紐づく明細データは1件しか取得できません。ヘッダデータに該当する明細データを複数抽出したい場合は、SQL設定にて独自に作成していただく必要があります。
13. 入力様式設定シートをインポートして登録する際は、ワークフローの設定にある入力様式プロセスタスク定義入力承認様式名が表示されていたとしても、承認様式の実ファイルは存在していません。そのため、承認様式を指定して登録を行ってください。
14. 入力様式マスタメンテ・出力様式マスタメンテにて設定シートのインポートを行うと、権限設定で存在しないユーザコード・組織コード・パブリックコード・ロールを指定していた場合、名称が空白になる場合があります。
15. 入力様式マスタメンテの採番設定もしくは承認情報出力設定で指定した項目を参照するセル内計算式を指定したセルは、ヘッダ・明細設定のいずれに指定しても計算結果をデータベースに保存できません。
16. 出力様式マスタメンテのヘッダ項目を指定する際に、入力様式マスタメンテの複数の明細設定で利用したテーブルを指定することはできません。
17. 出力様式マスタメンテのヘッダ項目に、入力様式マスタメンテの複数の明細設定で利用したテーブルを指定した出力様式の場合、登録データ出力の単票出力及び連票出力することはできません。
18. 出力様式マスタメンテのヘッダ項目と明細項目を指定する際に、入力様式マスタメンテの複数の明細設定で利用したテーブルを、それぞれ指定することはできません。
19. 出力様式マスタメンテのヘッダ項目と明細項目に、入力様式マスタメンテの複数の明細設定で利用したテーブルを、それぞれ指定した出力様式の場合、登録データ出力の単票出力及び連票出力することはできません。
20. 様式登録を行う際に、複数のシートを選択したまま登録を行うことはできません。
21. 入力様式を作成される場合、シート名の語尾に半角スペースを入力しないでください。
22. 入力様式、出力様式を作成される場合、セルの書式設定で行・列指定にて行うのではなく、セルの範囲を指定して書式を設定してください。

23. 入力様式マスタメンテにて1つの明細に複数のテーブルを設定し、また一覧表示項目に指定していた場合、登録データ検索にて検索を行うと表示される件数が多く表示されます。
24. 入力様式マスタメンテ明細タブは最大99件まで作成することができます。
25. ワークフローの後処理にて、承認情報を出力する設定を行っていた場合、出力した承認情報を登録するカラムサイズより、出力したデータがオーバーしていると、後処理にてエラーが発生します。そのため、承認情報を登録するサイズは十分とってください。
26. IM-ExApply for Accel Platform でExcelを表示する際にダウンロードダイアログは表示されません。
27. 様式を表示する際にサーバのログにWARNINGが出力されますが、POIが自動的に出力しているものであり動作に影響ございません。ただしWARNINGを出力しないように変更することはできません。
28. JIS2004に対応しておりません。
29. Microsoft Excelの仕様および制限事項内であれば設定項目数や明細数に制限は設けておりませんが、設定数増加に伴って登録処理に時間がかかってしまう場合があります。
30. サブプロセス定義を利用する場合、先頭タスクに申請画面を設定しないでください。
31. 入力様式テンプレートに設定している、弊社発行マクロのデジタル署名有効期限が切れた場合、今後提供するパッチより期限が更新された入力様式テンプレートを取得し、新しいテンプレートへ差し替えをお願いいたします。
32. intra-mart EX申請システム Ver7.2より前のバージョンで作成した入力様式は、クライアント端末が64bit環境のExcelでは利用できません。intra-mart EX申請システム Ver7.2に付属している入力様式テンプレートを取得し、新しいテンプレートへ差し替えをお願いいたします。
33. Microsoft Excel2013、2016のクライアント環境では、intra-mart EX申請システム Ver7.2.5より前のバージョンで作成した入力様式が正常に表示されない場合があります。intra-mart EX申請システム Ver7.2.5以降に付属している入力様式テンプレートを取得し、新しいテンプレートへ差し替えをお願いいたします。
34. サブプロセス定義を利用する場合、登録データ検索にはサブプロセスデータの案件番号は表示されません。
35. 出力様式マスタメンテのヘッダ設定・明細設定の一覧表示チェックボックスにチェックしても、登録データ出力の連票出力で一覧表示は表示されません。単票出力のみで有効となります。
36. 出力様式マスタメンテのヘッダ設定・明細設定のそれぞれで、同一テーブルの同一カラムを複数指定し、order byを設定することはできません。
37. データ抽出マスタメンテの抽出設定のそれぞれで、同一テーブルの同一カラムを複数指定し、order byを設定することはできません。
38. ヘッダ+明細設定された入力様式を旧形式で登録し、ヘッダのみを登録データ出力すると、明細件数分出力されます。
39. 登録データ出力では、明細に設定された項目を条件として指定した場合、条件に該当する申請番号のすべての明細が出力されます。
40. セルの書式設定を行または列単位で指定した場合、審議情報の処理日が日付型で入力様式に表示されません。
41. 出力様式マスタメンテ（ヘッダ）、出力様式マスタメンテ（明細）のカラム名には「履歴番号」が選択可能ですが、選択した場合の出力データは0（最新）の値のみ出力されます。
42. Webサーバ（IIS）の設定において、Excelの拡張子（.xls）のハンドラを明示的に設定すると IM-ExApply for Accel Platform が利用できない場合があります。
43. Webサーバ（IIS）の設定において、web.configファイルのmatch urlに*.zipを追加してください。
44. データ抽出設定でデータベースを「グループ利用データベース」を選択した場合、設定エクスポートを行うとデータベースが空白として表示されます。
45. Microsoft Excel 2010、2013、2016を利用する場合、過去バージョンの入力様式テンプレートを利用することができません。Version.7.2に付属している入力様式テンプレートにて様式の作成をお願いいたします。
46. IM-ExApply for Accel Platform で表示される会社、組織、ユーザ名称はシステム日付時点の名称で表示されます。
47. クライアント環境によって、ActiveXが自動更新されない場合がございます。その場合は、付属のActiveXToolより手動でインストールをお願いいたします。
48. 提出依頼の対象者として選択したユーザに、入力様式の権限が付与されていなくてもメールは送信されます。ただし、依頼された入力様式の登録は行えません。
49. Microsoft Excelの表示領域にはintra-martのメニューが表示がされません。
50. サーバOSの組合せにより文字コードが正しく変換されない（?文字に置き換えられる）場合があります。

[illegible]

【对象文字】

- | | |
|----------|--|
| 1 半角英字 | ~ |
| 2 記号 | 「」〃、。→⇒♪☆~\//¢£¬ |
| 3 囲み英数字 | ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ |
| 4 アラビア数字 | I II III IV V VI VII VIII IX X VII |
| 5 罫線 | — ┌┐└┘├┤┞┟┠┡┢┣┤┥┦┧┨┩┪┫┬┭┮┯┰┱┲┳┴┵┶┷┸┹┺┻┼┽┾┿┺┻┼┽┾┿ |
| 6 単位記号 | ミリ キロ セン メートル グラム トン アル ヘル リットル ワット カロリ セン セント パーセント ミリメートル mm cm km mg kg cc m ² |
| 7 年号 | 平成 昭和 元号 |
| 8 省略記号 | No. Kk. Tel. (株) (有) (代) |
| 9 数学記号 | ≡ ≡ ∫ ∫ Σ √ ⊥ ∠ ⊂ ∇ ∴ ∩ ∪ |
| 10 囲み文字 | Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ |

51. PDF作成機能、スタートパック連携機能、QuickBinder連携機能は使用できません。

Excelファイルに関する制限事項

1. 様式のExcelファイルにオブジェクト（画像・グラフ・テキストボックス・ボタンなど）を貼り付けることはできません。
特に、Microsoft Excel 2013、2016ではExcelが動作を停止する事象が多発いたします。そのため、利用しないでください。
2. 様式のExcelファイルにピボットテーブルをお使いいただくことはできません。
3. 様式のExcelファイルにて、リストの入力規則が設定されたセルを選択したまま保存すると正常に動作しません。
4. 様式のExcelファイルにて、マクロの関数名・名前定義・数式等に日本語を使用すると正常に動作しません。
5. 様式のExcelファイルにて、フィルタを設定したまま保存すると正常に動作しません。
6. 様式のExcelファイルのセル単位にアクセス権限を設定することはできません。
7. 様式は下記の形式にて保存してください。それ以外の形式で保存すると正常に動作しないことがあります。
Microsoft Excel 2010の場合： Excel 97-2003 ブック (*.xls)
Microsoft Excel 2013の場合： Excel 97-2003 ブック (*.xls)
Microsoft Excel 2016の場合： Excel 97-2003 ブック (*.xls)
8. 様式のExcelファイルにて、日本語を含む文字列連結を使用すると正常に動作しません。
上記事象は以下の方法により回避できます。
(例) =A1&"御中"
・ 文字列をセルに記入して連結させる
A2セルに「御中」と記入後、セル数式を「=A1&A2」に指定する
・ セルの書式を利用する
セルの書式－表示形式に「@ "御中""」と指定する
9. 様式のExcelファイルにて、入力規則にユーザ設定を利用することはできません。
10. 入力規則のリストを利用時に「元の値」にセルの参照式を設定すると、Excelシートを登録することができない場合があります。上記事象は、参照するセルにローマ英数字で名前を定義し、その名前を入力規則の「元の値」に設定することで回避できます。
11. Excelを重複して起動を行い、あるExcelのデータをコピーし、IM-ExApply for Accel Platform の入力様式にペーストを行った場合、セルのロック情報までコピーされます。
12. 様式のExcelファイルにて、1シートに挿入できるコメントの数は60個までとなります。コメントの設定は、任意のセルを選択後、右クリックより「コメントの挿入」を実施して行えます。

データベースに関する制限事項

1. 本製品以外にて作成されたデータベースのテーブルに更新することはできません。
2. データベースにSQL Serverをご使用いただいている場合、テーブル名・カラム名は全て物理名での表示となります。

1. 本製品は、ワークフローのプロセス種別「ドキュメントワークフロー」のみに対応しております。
2. ワークフロー起票時の一時保存は、案件名及びコメントがプロセス定義毎に保存されます。そのプロセス定義での起票が完了するまで一時保存された内容が初期表示されます。

クライアント環境に関する制限事項

1. IM-ExApply for Accel Platform でExcelを表示後、Microsoft Internet Explorerを×ボタンで閉じた場合などで、次回以降クライアントがMicrosoft Excelをダブルクリックとうで表示を行うさいに、ブックが表示されなくなる場合があります。
発生した場合は、下記の対応を行ってください。
Microsoft Excel 2010の場合：Excelのオプション/詳細設定/Dynamic Data Exchange(DDE)を使用する他のアプリケーションを無視するのチェックを外す
Microsoft Excel 2013の場合：Excelのオプション/詳細設定/Dynamic Data Exchange(DDE)を使用する他のアプリケーションを無視するのチェックを外す
Microsoft Excel 2016の場合：Excelのオプション/詳細設定/Dynamic Data Exchange(DDE)を使用する他のアプリケーションを無視するのチェックを外す
2. 本製品は入力情報の登録時にMicrosoft Excelのマクロを使用しています。
マクロを使用しないで登録などを行うことはできません。本製品の入力様式テンプレートにはデジタル署名を付与しております。お客様の方で、お客様が追加したマクロを追加・修正される際は、本製品のデジタル署名が無効になりますので、以下のいずれかの対処が必要となります。
①マクロセキュリティの設定を変更する
・ Excel2010の場合－「すべてのマクロを有効にする」
・ Excel2013の場合－「すべてのマクロを有効にする」
・ Excel2016の場合－「すべてのマクロを有効にする」
②デジタル署名を付与する
なお、マクロのデジタル署名の詳細については、マイクロソフトのオフィスオンライン(<http://office.microsoft.com/>)を参照してください。
Excel2010以降にては、デジタル署名が付与された入力様式を利用する際は、事前にデジタル証明書キーをクライアント端末にインストールする必要があります。インストール手順については、システム利用者マニュアルを参照してください。
3. インターネット一時ファイルの設定を「ツール」 - 「インターネットオプション」 - 「全般」 - 「設定」にて「ページを表示するごとに確認する(E)」もしくは「自動的に確認する(A)」のどちらかの設定にしてください。設定が正しくない場合、ブラウザ上に表示されるExcelファイルの値が正常に表示されません。
4. IM-ExApply for Accel Platform でExcelを操作している途中にMicrosoft Internet Explorerがアプリケーションエラーで異常終了した場合、Excelプロセスが終了しないことがあります。その場合はOperating Systemの再起動を行うか、Excelプロセスを終了しても影響がないことを確認し、タスクマネージャのプロセス操作よりExcelプロセスの終了を行うかのどちらかを行ってください。ただし上記にて解決しない場合、Documents and Settingsフォルダにある、ログインユーザIDLocal SettingsTempSepExcelInfo.iniファイルの削除を行ってください。
5. Microsoft Excel2013、2016を利用される場合、Excelを重複して利用できません。重複のパターンは下記の①～⑤となります。そのうち、④および⑤についてはExcel重複起動チェックが追加しました。IM-ExApply for Accel Platform でExcelを表示する前に、既にExcelが表示されている場合、Excelを表示できないようにしております。
① IM-ExApply for Accel Platform でExcelを表示後、クライアントのMicrosoft Excelを起動する。
② IM-ExApply for Accel Platform でExcelを表示後、IM-ExApply for Accel Platform で添付したExcelファイルを表示する。
③ IM-ExApply for Accel Platform でExcelを表示後、intra-martのワークフローで添付したExcelファイルを表示する。
④ IM-ExApply for Accel Platform でExcelを表示後、別ブラウザで IM-ExApply for Accel Platform でExcelを表示する。（添付ファイルは除く）
⑤クライアントのMicrosoft Excelを表示後、IM-ExApply for Accel Platform のExcelを表示する。

既知の問題

1. 入力情報を登録する、もしくは登録した入力情報を訂正する場合にExcelファイルのセル内に不要な半角スペースが入ってしまい、下記に挙げる事象が発生する場合があります。
1. セル内に文字列連結の数式を設定している場合、連結結果で正しい結果が得られません。
2. セルの入力規則でリストを設定している場合、既に選択済の値が異なった値となります。

3.セルの書式設定にてセンタリングをしている場合、半角スペース分だけ表示位置がずれてしまいます。

上記事象は以下の方法により回避できる場合があります。

- ・ 1の回避方法

ExcelのTRIM関数を使用し、前後の半角スペースを削除する(Excelファイル表示時)

例) セルに「=A1+A2」を設定している場合、「=TRIM(A1)+TRIM(A2)」に変更する

- ・ 2、3の回避方法

ExcelマクロのWorkbook.Open関数内にて対象セルに対し、TRIM関数を適用する

- IM-ExApply for Accel Platform を導入するにあたっての事前確認事項をまとめています
- IM-ExApply for Accel Platform の動作条件、利用条件、制限事項などの確認をしてください。
- 事前確認事項は次の2つに分かれています。
 - 環境チェック
 - 制限事項チェック
- 事前確認事項に記載されていない内容は、本書またはマニュアルを確認してください。

環境チェック

No	区分	チェック内容	補足
1	サーバ	動作環境を満たしていること。 (OS、DB、intra-mart、Excel)	動作環境については、製品付属のリリースノートをご参照ください。
2	クライアント	動作環境を満たしていること。 (OS、IE、Excel)	動作環境については、製品付属のリリースノートをご参照ください。 Microsoft Internet Explorer以外のブラウザは利用できません。
3	クライアント	ActiveXコントロールのインストールが可能なこと。	インストールにあたっては、OSの管理者権限を持ったユーザで操作する必要があります。 ActiveXコントロールは、IM-ExApply for Accel Platform を最初に利用するとき及びバージョンアップやパッチ提供によりActiveXコントロールが新しくなったときに自動でインストールされますが、インストール後はOSの管理者権限を持ったユーザでなくても利用できます。
4	クライアント	お客様にてMicrosoft Excelのマクロを追加・修正された場合。	マクロを実行可能とするためにいずれかの対処が必要な場合があります。 ・マクロセキュリティの設定を変更する Excel2010の場合ー「すべてのマクロを有効にする」 Excel2013の場合ー「すべてのマクロを有効にする」 Excel2016の場合ー「すべてのマクロを有効にする」 ・お客様にてマクロにデジタル署名を追加する IM-ExApply for Accel Platform の入力様式テンプレートには、あらかじめデジタル署名を付与しております。
5	クライアント	Microsoft Internet Explorerの設定が以下のとおりであること、または、以下のとおり変更できること。 ・[ツール]-[インターネットオプション]の「全般」で「閲覧の履歴」の「設定」を選択し、「Webサイトを表示するたびに確認する(E)」もしくは「自動的に確認する(A)」を選択 【以下、[ツール]-[インターネットオプション]の「セキュリティ」で「信頼済みサイト」を選択した後の指定】 ・「サイト」にintra-martのURLを指定 ・「保護モードを有効にする」を選択解除（Windows 7・8・10の場合） ・「レベルのカスタマイズ」で[ActiveXコントロールとプラグイン]-[ActiveXコントロールとプラグインの実行]に「有効にする」を指定 ・「レベルのカスタマイズ」で[ファイルのダウンロード]を「有効にする」を指定 ・「レベルのカスタマイズ」で[ActiveXコントロールとプラグイン]-[署名済みActiveXコントロールのダウンロード]に「ダイアログを表示する」または「有効にする」を指定	

No	区分	チェック内容	補足
6	クライアント	エクスプローラの設定が以下のとおりである、または、以下のとおりに変更できること。 ・[ツール]-[フォルダオプション]-[ファイルの種類]にて拡張子「XLS」の「同じウィンドウで開く」を選択	

制限事項チェック

No	区分	項目	補足
1	データベース	本製品以外にて作成したデータベースのテーブルを更新することはできません。	
2	データベース	データベースがSQL Serverの場合、テーブル名・カラム名は全て物理名での表示となります。	
3	ワークフロー	ビジネスプロセスワークフロー及びIM-WorkFlowは利用できません。	ドキュメントワークフローのみ利用できます。
4	Excelファイル (入力様式・出力様式)	Microsoft Excelは拡張子(.xlsx)の形式は利用できません。	Microsoft Excelは拡張子(.xls)のファイルのみ利用できます。
5	Excelファイル (入力様式・出力様式)	作成する様式の保存形式が IM-ExApply for Accel Platform を利用するクライアント端末と異なる場合、正常に動作しません。	様式は下記の形式にて保存してください。 Microsoft Excel 2010の場合： Excel 97-2003ブック (*.xls) Microsoft Excel 2013の場合： Excel 97-2003ブック (*.xls) Microsoft Excel 2016の場合： Excel 97-2003ブック (*.xls)
6	Excelファイル (入力様式・出力様式)	オブジェクト（画像・グラフ・テキストボックスなど）は利用できません。	入力様式の添付ファイルとしてであれば利用できます。
7	Excelファイル (入力様式・出力様式)	ピボットテーブル、フィルタは利用できません。	ピボットテーブル、フィルタを利用する場合は、入力様式または出力様式を一旦ローカルにダウンロードしてください。
8	Excelファイル (入力様式・出力様式)	名前定義、数式等に日本語は利用できません。	
9	Excelファイル (入力様式・出力様式)	入力規則のリストが設定されたセルを選択したままシステムに登録できません。	様式登録時は、入力規則のリストが設定されていないセルを自動的に選択します。
10	Excelファイル (入力様式・出力様式)	入力規則のリストの「元の値」にセルの参照式は利用できません。	
11	Excelファイル (入力様式・出力様式)	採番設定もしくは承認情報出力設定で指定した項目を参照するセル内計算式は利用できません。	
12	Excelファイル (入力様式・出力様式)	Excelの制限を越えて利用することはできません。	詳細はMicrosoft Excelのヘルプ「Excel の仕様および制限」を参照してください。

No	区分	項目	補足
13	Excelファイル (入力様式・出力様式)	Excelの全ての機能（VBAマクロを含む）の動作を保証したものではありません。事前に検証が必要です。	
14	Excelマクロ	マクロの関数名・名前定義・数式等に日本語は利用できません。	
15	Excelマクロ	独自のマクロを追加する場合、標準モジュールのオブジェクト名称の頭文字は大文字でないと利用できません。	
16	仕様	入力様式及び出力様式を登録するカテゴリは最大5階層までです。	
17	仕様	入力様式に添付できるファイルは最大10ファイルまでです。	
18	環境	携帯電話、PDAでは利用できません。	
19	既知の障害	Excelファイル（入力様式・出力様式）のセル内に不要な半角スペースが設定される場合があります。	

IM-ExApply for Accel Platform

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
Apache POI	2.5.1, 3.1	ASL	http://poi.apache.org/
JExcelAPI	2.6	LGPL	http://jexcelapi.sourceforge.net/



注意

intra-mart Accel Platform に含まれているその他のライブラリについては、記載しておりません。

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=exapply>）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価としてイントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザー登録を完了されたお客様のみに当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上